

やまなしライフサポート

LS YAMANASHI LIFE SUPPORT

NEWS LETTER 7号 2016年5月発行
NPO 法人やまなしライフサポート
〒400-0836 甲府市小瀬町 654
山梨カトリック福祉センター
TEL/FAX 055-241-2545
E.Mail yls@mx6.nns.ne.jp
ホームページ <http://www6.nns.ne.jp/~yls/>

若年層利用者の急増に社会崩壊の影 やまなしライフサポート理事長 中山八十司

路上生活者や生活困窮者の自立支援を目指すやまなしライフサポートの活動の中で、今一番注目されているのが一時生活支援事業です。家庭の崩壊や不運な健康障害、親権者の高齢化による経済的破綻、突然の解雇等が原因で家賃の滞納が長引き、住居を失い路上や車上生活を余儀なくされた人々のために、宿泊場所と食事、衣類等を無料で提供する支援活動です。

2013年5月から始まったライフ荘を利用する緊急宿泊支援は、やまなしライフサポートに最も必要とされる事業となりました。以来2015年度末までの総利用数は1,200泊以上に達し、ライフ荘での生活を通して多くの路上生活者が人間関係を回復し、人生再出発の足がかりを見出してきました。利用者の多くは中高年の男性でしたが、ここ一年間の利用者の年齢が急激に低下すると同時に女性の数が増加していることに、現在日本に起こっている貧困の深さと格差と分断から生み出された孤立社会の姿を垣間見る思いがします。

20代2名、30代7名、40代12名の若い稼働年齢の方々がライフ荘を利用したことは今までにない異常事態と言えるでしょう。30代、40代の中には4名の女性が含まれ、内2名の方は子ども1人と2人を同伴した母親でありました。家族

の方々をライフ荘に預かり支援したことは以前にはありませんでした。

24歳の男性は身寄りのない施設出身の方で、奨学金を借りて通信制で高校を卒業し必死に大阪で働いておりました。昨年12月に会社を辞め、今年2月1日から希望していた待遇のよい会社への入社が決定していました。1月中、奨学金の返済月36,000円と生活費を稼ぐために夜間の解体工場の職についておりました。1月17日の真夜中、派遣会社の都合で強引に山梨の笹子トンネル工事の現場に連れてこられました。22日に大阪に帰り入社準備をしたいので仕事を辞めたいと申し出たところ、契約違反だから120万円の違約金を払えと脅され、絶望してメールでライフサポートに助けを求めてきました。

非正規雇用や暗躍するブラック企業などの醜悪な労働条件の犠牲により、職と住まいを失い簡単に路上生活に陥る若者達の一例です。

やまなしライフサポートの活動目的は地域における人的つながりを通して、何人も社会において孤立せず、健康で文化的な最低限の生活を営むことのできる社会の実現に寄与することです。

2015年度の主な活動実績

2015年4月～2016年3月 人数は延べ人数

炊出し（弁当配布含む）	2,275名（50回）
健康相談	298名（49回）
緊急一時宿泊（ライフ荘）	26名（166泊）
就労相談	38名（35回）
路上生活者訪問・弁当配布	211名
生保・年金受給者面談	168名
生活保護申請同行	30名（受給実績20名）
就労サポート	17名（就労実績6名）

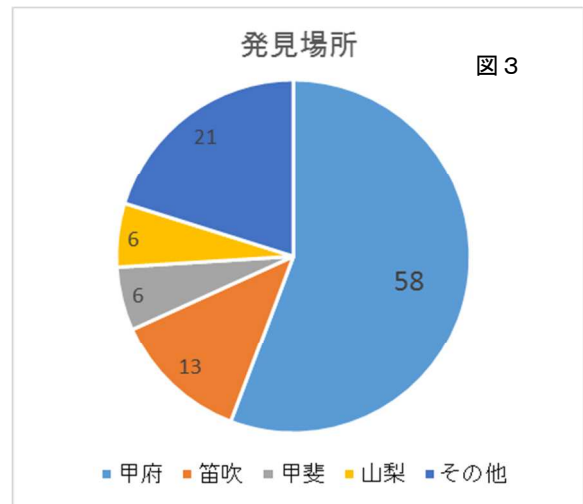
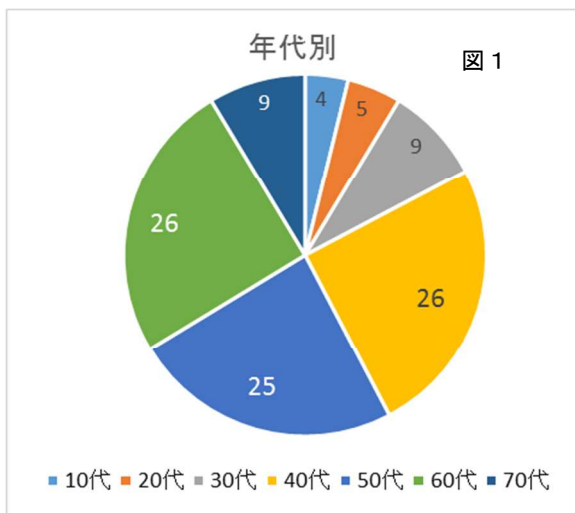
緊急一時宿泊事業3年間で見てきたもの

失業や生活困窮によって住居を失った方のための緊急一時宿泊施設ライフ荘を2013年5月に開設以来、3年が経過しました。この間に104名(1,214泊)の利用があり、当 NPO や行政、福祉団体等の支援により、大半の方が安定した住居を確保することができました。

3年間の利用者の状況を確認すると共に、路上生活者や生活困窮者が抱えている問題を考えてみたいと思います。

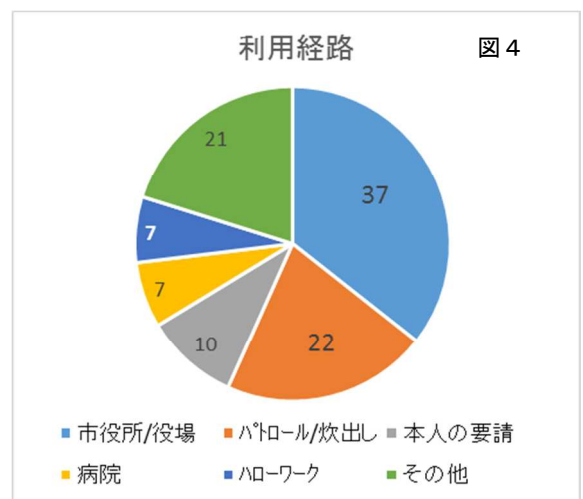
●利用者の属性

104名中男性が94名で約90%を占めています。年代別には40代、50代、60代がほぼ同数で、全体の 3/4 を占めています(図1)。働き盛りの年代の方が多くなっています。



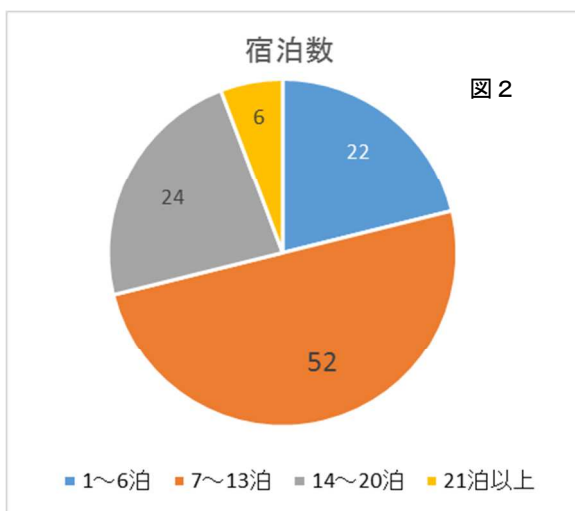
●利用経路

市役所/役場からの依頼や情報提供が多く最も多く、当法人のパトロールや炊出しでの発見が続きます(図4)。



●宿泊数

7~13泊が約半数を占め、平均は11泊でした。最短は1泊、最長は71泊でした(図2)。



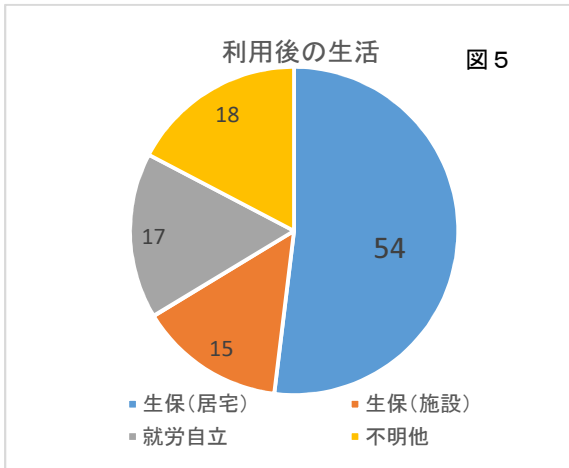
●ライフ荘利用後の状況

生活保護受給が約7割を占め、居宅(アパート)以外に施設に入所された方もおられます。

就労自立が少ないのは、50代以上の方の利用が多いためと思われます(図5)。

●利用に至るまで

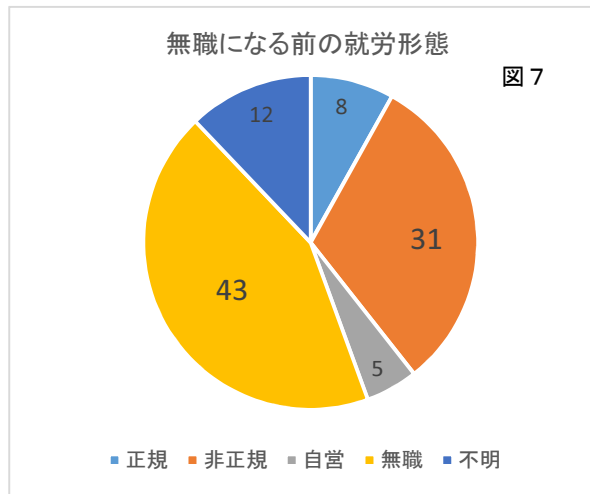
当事者の発見場所は甲府市が半数以上を占め、笛吹市、甲斐市、山梨市と続きます(図3)。(他の発見地では、甲州市、韮崎市、南アルプス市、富士吉田市、都留市、昭和町、峡南地区等があります)



●無職になる前の就労形態

1年以上無職という方が多い一方、最近まで働いていた方では**非正規雇用の方が、正規雇用の約4倍**にのぼっています。

派遣、アルバイト、日雇いといった**不安定な雇用形態が、失業→路上化に大きく影響している**と言えます(図7)。



● 職業

職業のない方が大半を占め、職を失う → 住居を失うという関係が明確になっています(図6)。



ライフ荘利用者の声

Kさん・60代男性

甲府市内の公園にいた時に、パトロール中のお巡りさんに声をかけられ、親切に対応していただき、もう一度市役所の福祉課に生活保護の相談に行きました。その結果、やまなしライフサポートの方に巡り合い、緊急宿泊施設での生活の場を提供していただきました。アパート探しや家財提供でもお世話になり、今日に至っています。

生きるということの大切さを今さらながらに思いを深め、人としての通常の生活に戻れたことの喜びと、生きる幸せをサポートしてくださったライフサポートの方々、警察官の方々、市の福祉課の方々に心から感謝と御礼を申し上げます。

Mさん・40代男性

自分で事業をしていましたが失敗し、自殺を考えて青木ヶ原樹海まで行きました。そこで何人かそれらしき人を見つけ、死んでは駄目だ、一から出直そうと決心しました。甲府に戻りましたが、持病が悪化し救急搬送された病院の紹介で市役所に行き、ライフサポートにつながりました。

ライフ荘での住まいと食事、生活保護申請手続き、また就職のお世話まで、私の人生42年間の中で最大の危機をライフサポートの皆様に助けられました。こんな私を心から心配し面倒をみてもらい本当に助かりました。ライフサポートがなければ今の私はありません。今まで生きて中でこれだけ人の心のありがたさを感じたことはありませんでした。

Dさん・50代男性

今年の1月下旬、橋の下にいた時に県の人(?)に「そこから出ていけ」と言われ、次の場所を探しましたが見つかりませんでした。困り果ててI町の役場に相談に行きました。

役場ではライフサポートを紹介してくれて、ライフ荘には入ることになりました。大雪の前で凍えずに助かりました。ライフ荘には生活に必要なもの(テレビ、冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、寝具等)が備わっており、3度の食事も提供してもらいました。

ライフ荘での2週間の間に生活保護の申請をしたり、役場の人にアパートを探してもらっていました。2月下旬にアパートが決まり引っ越しました。福祉事務所やライフサポートからは新居での生活用品の面倒も見てもらいとても助かりました。

当NPOの財政状況について

当法人は 2013・2014 年度の 2 年間、国庫補助金(年間約 2,000 万円)を主要な財源として運営してまいりました。しかし、2015 年度は生活困窮者自立支援法施行により、国庫補助金が地方自治体からの委託費(任意事業)となったことで、金額は従来 6 分の 1 に激減しました。

この状況を受け、当NPOの会費を改定させていただきました。また、皆さまにご支援をお願いしたところ、予想を大きく超える多額のご寄付をいただきました。一方で福祉医療機構の助成が認められて、規模は縮小したものの活動継続が可能となり、最終決算では黒字を確保することができました。

会員の皆さま、ご寄付をいただいた皆さまに心より感謝申し上げますとともに、今年度以降も引き続きご支援を継続いただきたくよろしくお願い申し上げます。

尚、2016 年度につきましては、甲府市からの生活困窮者自立支援業務委託を目指しており、財政基盤の安定化を図ってまいる所存です。

物品のご寄付を募っています

路上生活をされていた方がアパートでの生活を始めるにあたり、様々な生活用品が必要になります。多くのご寄付をいただいておりますが、現在右記の物品が特に必要です。ご連絡いただきましたら当方より受け取りに伺いますのでよろしくお願いたします。

小型冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ
小型テレビ、電気炊飯器、コタツ、
電気ポット、自転車、カーテン

ボランティアさん募集

当 NPO の活動に協力していただけるボランティアを募集しています。詳細につきましてはお気軽にお問合せください。

1. 炊出しボランティア

- ・毎週木曜日 午後 2 時～5 時(一部でも可)、カトリック甲府教会にて
- ・調理、配食、片付け等のお手伝いをさせていただきます。

2. 見守りパトロール

- ・隔月第 4 日曜日 午後 2 時～4 時 30 分頃 カトリック甲府教会集合
(8月、12月は夜間パトロールとなります。詳細は別途お問い合わせください。)
- ・数グループに分かれ、甲府市と周辺部をパトロールし、路上生活者の発見や安否確認をします。

会員募集中です

やまなしライフサポートの活動を資金面で支えてくださる方を募集しています。

	年会費
会員(当団体を支援し活動に参加して下さる方。総会での議決権有り)	個人 5,000 円 団体 10,000 円
賛助会員(当団体の活動を応援して下さる方)	個人 5,000 円 団体 10,000 円

入会申込書は、やまなしライフサポートのホームページ(<http://www6.nns.ne.jp/~yls/information.html>)からダウンロードすることができます。また、お電話いただければ郵送させていただきます。